

(1) 普通会計の状況(都道府県)

歳入の状況(単位 千円・%)					都道府県税の状況(単位 千円・%)				
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分	
地方税	1,110,111,593	56.2	941,353,564	79.8	普通税	1,110,089,739	100.0	22,654,184	
地方譲与税	152,143,877	7.7	152,143,877	12.9	法定普通税	1,110,089,739	100.0	22,654,184	
地方揮発油譲与税	1,844,004	0.1	1,844,004	0.2	道府県民税	528,485,655	47.6	9,297,918	
地方道路譲与税	-	-	-	-	個人均等割	7,965,391	0.7	1,358,773	
特別とん譲与税	-	-	-	-	所得割	428,446,577	38.6	2,488,315	
石油ガス譲与税	94,166	0.0	94,166	0.0	法人均等割	7,150,513	0.6	-	
航空機燃料譲与税	-	-	-	-	法人税割	44,093,209	4.0	5,450,830	
地方法人特別譲与税	150,205,707	7.6	150,205,707	12.7	利子割	5,757,602	0.5	-	
市町村たばこ税都道府県交付金	-	-	-	-	配当割	21,588,023	1.9	-	
地方特例交付金	4,404,105	0.2	4,404,105	0.4	株式等譲渡所得割	13,484,340	1.2	-	
地方交付税	78,550,110	4.0	77,022,539	6.5	事業税	200,847,840	18.1	13,356,266	
普通交付税	77,022,539	3.9	77,022,539	6.5	個人分	17,698,687	1.6	-	
特別交付税	685,653	0.0	-	-	法人分	183,149,153	16.5	13,356,266	
震災復興特別交付税	841,918	0.0	-	-	地方消費税	203,730,012	18.4	-	
(一般財源計)	1,345,209,685	68.1	1,174,924,085	99.7	不動産取得税	26,601,877	2.4	-	
交通安全対策特別交付金	1,386,174	0.1	1,386,174	0.1	道府県たばこ税	9,837,178	0.9	-	
分担金・負担金	3,513,145	0.2	-	-	ゴルフ場利用税	1,627,897	0.1	-	
使用料	21,458,607	1.1	1,868,620	0.2	自動車取得税	5,647,863	0.5	-	
手数料	13,084,250	0.7	-	-	軽油引取税	39,794,028	3.6	-	
国庫支出金	194,503,886	9.8	-	-	自動車税	93,517,388	8.4	-	
国有提供交付金	-	-	-	-	鉱区税	1	0.0	-	
財産収入	28,094,847	1.4	459,523	0.0	固定資産税特例	-	-	-	
寄附金	435,721	0.0	-	-	法定外普通税	-	-	-	
繰入金	49,212,638	2.5	-	-	目的税	21,810	0.0	-	
繰越金	19,169,269	1.0	-	-	法定目的税	21,810	0.0	-	
諸収入	34,127,412	1.7	326,321	0.0	狩猟税	21,810	0.0	-	
地方債	266,579,136	13.5	-	-	法定外目的税	-	-	-	
うち減収補填債(特例分)	-	-	-	-	旧法による税	44	0.0	-	
うち臨時財政対策債	227,353,000	11.5	-	-	合計	1,110,111,593	100.0	22,654,184	
歳入合計	1,976,774,770	100.0	1,178,964,723	100.0					

区分	平成26年度		平成25年度	
	現年	計	現年	計
徴収率(%)	98.8	97.5	98.7	97.1
道府県民税	98.7	96.1	98.5	95.5
事業税	100.0	99.6	100.0	99.4

(注釈)
普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

歳出の状況(単位 千円・%)				
区分	決算額(A)	構成比	(A)のうち普通建設事業費	(A)のうち充当一般財源等
議会費	3,384,925	0.2	-	3,384,771
総務費	166,341,905	8.5	6,350,220	146,384,314
民生費	365,611,684	18.7	10,551,416	310,012,063
衛生費	54,929,937	2.8	2,941,527	39,001,250
労働費	10,371,541	0.5	30,129	3,177,807
農林水産業費	24,438,258	1.3	11,032,293	13,735,986
農工費	21,420,703	1.1	6,684,203	14,575,246
土木費	99,591,145	5.1	68,850,066	46,792,699
警察費	181,635,360	9.3	5,514,097	165,816,361
消防費	-	-	-	-
教育費	577,621,492	29.6	12,418,804	441,343,493
災害復旧費	67,872	0.0	-	1,226
公債費	298,531,532	15.3	-	290,213,264
諸支出費	-	-	-	-
前年度繰上充用金	-	-	-	-
利子割交付金	2,936,294	0.2	-	2,936,294
配当割交付金	12,778,360	0.7	-	12,778,360
株式等譲渡所得割交付金	8,003,051	0.4	-	8,003,051
地方消費税交付金	97,990,807	5.0	-	97,990,807
ゴルフ場利用税交付金	1,106,565	0.1	-	1,106,565
特別地方消費税交付金	-	-	-	-
自動車取得税交付金	5,135,987	0.3	-	5,135,987
軽油引取税交付金	18,152,781	0.9	-	18,152,781
特別区財政調整交付金	-	-	-	-
歳出合計	1,950,050,199	100.0	124,372,755	1,620,542,325

性質別歳出の状況(単位 千円・%)					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	1,055,827,918	54.1	926,746,412	911,829,725	64.8
人件費	707,669,471	36.3	602,279,784	587,363,097	41.8
うち職員給	520,668,094	26.7	416,091,479	401,897,492	28.6
扶助費	51,137,791	2.6	35,764,240	35,764,240	2.5
公債費	297,020,656	15.2	288,702,388	288,702,388	20.5
元利償還金	297,020,656	15.2	288,702,388	288,702,388	20.5
内訳					
うち元金	240,770,060	12.3	232,590,747	232,590,747	16.5
うち利子	56,250,596	2.9	56,111,641	56,111,641	4.0
一時借入金利子	-	-	-	-	-
その他の経費	769,781,654	39.5	650,184,174	400,145,957	28.5
物件費	65,747,238	3.4	44,065,419	36,376,353	2.6
維持補修費	9,397,331	0.5	3,822,533	3,819,975	0.3
補助費等	563,295,464	28.9	514,398,163	358,890,951	25.5
繰出金	4,883,304	0.3	4,883,304	-	-
積立金	112,011,655	5.7	77,659,077	-	-
投資及び出資金	4,297,000	0.2	4,297,000	-	-
貸付金	10,149,662	0.5	1,058,678	1,058,678	0.1
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	124,440,627	6.4	43,611,739	-	-
うち人件費	3,706,803	0.2	2,842,575	-	-
普通建設事業費	124,372,755	6.4	43,610,513	-	-
うち補助	51,190,870	2.6	3,693,556	-	-
うち単独	68,392,672	3.5	36,878,744	-	-
災害復旧事業費	67,872	0.0	1,226	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	1,950,050,199	100.0	1,620,542,325	-	-

(2)各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率(都道府県)

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実質収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	1,927,749	1,906,933	20,816	7,548	40,454	4,108,940	
2 公債管理特別会計	687,070	687,070	-	-	451,476	-	
3 公営競技収益配分金等管理会計	3,701	3,686	15	-	1,715	-	
4 地方消費税清算会計	389,056	387,995	1,061	-	-	-	
5 市町村自治振興事業会計	10,538	7,661	2,877	-	1,569	1,967	
6 災害救助基金会計	5	5	0	-	3	-	
7 水源環境保全・再生事業会計	8,665	8,527	138	-	-	-	
8 農業改良資金会計	138	53	85	-	1	118	
9 恩賜記念林業振興資金会計	144	119	25	-	8,329	-	
10 林業改善資金会計、沿岸漁業改善資金会計	212	41	171	-	-	-	
11 地方独立行政法人神奈川県立病院機構構想基金会計	10,294	10,294	0	-	23	45,752	
12 母子寡婦福祉資金会計	590	468	122	-	600	3,135	
13 介護保険財政安定化基金会計	615	615	0	-	355	-	
14 中小企業資金会計	6,832	5,613	1,219	-	4,337	15,699	
15 県営住宅管理事業会計	16,858	16,681	177	-	219	103,737	
16 都市用地対策事業会計	305	286	19	-	-	832	
計 一般会計等(純計)	3,062,773	3,036,048	26,725	7,548	-	4,280,180	実質赤字額

一般会計等(純計)は、各会計の相互間の繰入・繰出等の重複を控除したものであり、各会計の合計と一致しない場合がある。

公営企業会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	総収益(歳入)	総費用(歳出)	純損益(形式収支)	資金剰余額/不足額(実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうちの一般会計等繰入見込額	資金不足比率	備考
1 水道事業会計	59,413	60,221	808	20,845	838	131,999	-	-	法適用企業
2 電気事業会計	8,401	7,739	662	20,366	-	6,620	-	-	法適用企業
3 公営企業資金等運用事業会計	928	3,901	2,973	31,718	-	-	-	-	法適用企業
4 相模川総合開発共同事業会計	1,396	1,396	0	-	-	-	-	-	法適用企業
5 酒匂川総合開発事業会計	1,013	1,013	0	-	-	-	-	-	法適用企業
6 病院事業会計	1,452	1,479	27	664	757	19,997	609	-	法適用企業
7 流域下水道事業会計	21,723	19,238	2,485	1,970	4,883	36,104	36,898	-	法非適用企業
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
31									
32									
33									
34									
35									
計 公営企業会計等				75,562		194,720	37,507		連結実質赤字額

関係する一部事務組合等の財政状況(単位:百万円)

一部事務組合等名	総収益(歳入)	総費用(歳出)	純損益(形式収支)	資金剰余額/不足額(実質収支)	他会計等からの繰入金	企業債(地方債)現在高	左のうちの一般会計等繰入見込額	備考
1 神奈川県内広域水道企業団	48,739	45,813	2,926	12,224	2,927	175,155	1,941	
2 神奈川県競輪組合	13,708	13,675	33	33	-	-	-	
3 神奈川県川崎競馬組合	52,667	51,734	933	933	-	-	-	
4								
5								
6								
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
計 一部事務組合等				13,190		175,155	1,941	

地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況(単位:百万円)

地方公社・第三セクター等名	経常損益	純資産又は正味財産	当該団体からの出資金	当該団体からの補助金	当該団体からの貸付金	当該団体からの債務保証に係る債務残高	当該団体からの損失補償に係る債務残高	一般会計等負担見込額	備考
1 (財)神奈川県厚生福利振興会	26	1,982	50				996	100	
2 (財)神奈川県科学技術アカデミー	96	6,592	3,326	1,071					
3 (株)湘南国際村協会	27	1,755	1,000						
4 (公財)宮ヶ瀬ダム周辺振興財団	1	1,913	500						
5 (公財)かながわ国際交流財団	22	4,702	165	60					
6 (公財)神奈川県文学振興会	3	155	53						
7 (公財)神奈川県芸術文化財団	72	1,089	600						
8 (公財)かながわ健康財団	6	855	117	47					
9 (財)神奈川県生活衛生営業指導センター	2	35	6	45					
10 (一財)あしがら勤労者いこいの村	6	86	4						
11 (財)神奈川県都市整備技術センター	22	1,196	80						
12 (株)湘南なぎさパーク	58	1,910	310						
13 (公財)神奈川県下水道公社	2	137	55						
14 神奈川県道路公社	302	20,978	10,781		2,000	4,670			
15 神奈川県住宅供給公社	2,685	53,895	15	375	2,583		84,752	8,475	
16 (財)神奈川県教育福祉振興会	24	742	50						
17 (公財)神奈川県体育協会	20	310	2	264					
18 (公財)神奈川県暴力追放推進センター	1	513	250	11					
19 (公財)かながわトラストみどり財団	1	400	300	141					
20 (公財)かながわ海岸美化財団	1	1,840	1,400	171					
21 (社)神奈川県農業公社	10	129	28	10			17	12	
22 (公財)神奈川県栽培漁業協会	4	744	488						
23 三崎マリン(株)	21	549	20						
24 (社)神奈川県肉用子牛価格安定基金協会	1	55	28						
25 (社)神奈川県畜産会	2	17	41	1					
26 (株)神奈川県食肉センター	171	236	20				190	171	
27 (公財)地球環境戦略研究機関	184	3,718	50	105					
28 (公財)神奈川県産業振興センター	59	4,558	300	1,351	4,366		367	37	
29 (独)神奈川県立病院機構	123	13,756	13,557	64					
30 (公財)寿町勤労者福祉協会	13	49		23					
31 (公財)横浜観光コンベンション・ビューロー	0	1,336	150						
32 (公財)横浜市建築助成公社	1,292	26,008	2						
33 横浜新都市センター(株)	2,838	31,372	1,200						
34 (株)川崎球場	32	249	68						平成27年3月31日閉鎖
35 (株)三浦海業公社	12	210	100						
36									
37									
38									
39									
40									
41									
42									
43									
44									
45									
46									
47									
48									
49									
50									
51									
52									
53									
54									
55									
56									
57									
58									
59									
60									
61									
62									
63									
64									
65									
66									
67									
68									
69									
70									
71									
72									
73									
74									
75									
76									
77									
78									
79									
80									
81									
82									
計 地方公社・第三セクター等			35,116	3,739	8,949	4,670	86,322	8,795	

地方公共団体が25%以上出資している法人又は財政的支援を行っている法人を記載している。

地方公共団体財政健全化法に基づき将来負担比率の算定対象となっている法人については、印を付与している。

公債費負担の状況

将来負担の状況

実質公債費比率(千円・%)					将来負担比率(千円・%)				
区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	分母比	区分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	分母比
元利償還金	106,053,463	113,480,890	123,715,450	10.2	将来負担額	4,178,463,665	4,248,704,890	4,280,180,288	353.0
減債基金積立不足算定額	16,645,236	33,370,256	38,930,738	3.2	一般会計等に係る地方債の現在高	30,826,876	27,860,018	25,118,804	2.1
満期一括償還地方債に係る年度割相当額	153,586,856	154,267,276	155,042,550	12.8	債務負担行為に基づく支出予定額	42,317,621	40,237,461	37,506,692	3.1
準元利償還金	4,590,594	3,992,971	4,396,378	0.4	公営企業債等繰入見込額	3,480,000	2,681,000	1,941,000	0.2
組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	1,000,000	926,000	838,000	0.1	組合等負担等見込額	659,064,328	587,960,724	537,848,684	44.4
債務負担行為に基づく支出額(公債費に準ずるもの)	4,313,946	3,682,628	3,383,927	0.3	退職手当負担見込額	11,983,194	12,269,958	12,069,676	1.0
一時借入金の利子	-	-	-	-	設立法人等の負債額等負担見込額	-	-	-	-
合計	(A) 286,190,095	309,720,021	326,307,043		連結実質赤字額	3,163,626	2,587,925	-	-
内訳					組合等連結実質赤字額負担見込額	-	-	-	-
PFI事業に係るもの	1,338,210	1,121,024	1,118,814	0.1	合計	(E) 4,929,299,310	4,922,301,976	4,894,665,144	
いわゆる五省協定等に係るもの	-	-	-	-	充た可能基金	536,838,293	582,808,949	640,581,938	52.8
国営土地改良事業・森林総合研究所等が行う事業に係るもの	-	-	-	-	充た可能特定歳入	130,998,353	133,587,578	128,077,819	10.6
地方公務員等共済組合に係るもの	-	-	-	-	基準財政需要額算入見込額	2,126,139,602	2,284,369,054	2,392,739,100	197.3
社会福祉法人の施設建設費に係るもの	-	-	-						

(3) 都道府県財政比較分析表(普通会計決算)

人口	9,116,666	人(H27.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	8,950,680	人(H27.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	2,415.81	km ²	実質公債費比率	11.9	%
歳入総額	1,976,774,770	千円	将来負担比率	142.9	%
歳出総額	1,950,050,199	千円	グループ	H22 B H23 B H24 B	
実質収支	7,547,768	千円	(年度毎)	H25 B H26 B	
標準財政規模	1,371,076,618	千円			
地方債現在高	3,753,772,282	千円			



グループとは、道府県を財政力指数の高低によって5つに分類したものである。
 [Aグループ 1.000以上、Bグループ 0.500以上1.000未満、Cグループ 0.400以上0.500未満、Dグループ 0.300以上0.400未満、Eグループ 0.300未満]
 *人件費・物件費等の状況、決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

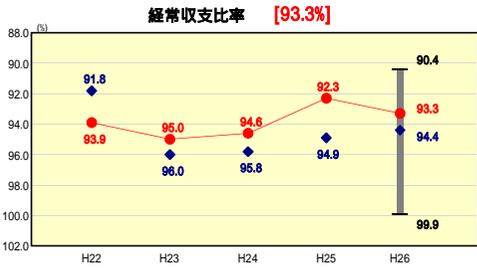
財政力



グループ内順位 1/17 都道府県平均 0.47

財政力指数の分析
 本県は、首都圏に位置し、大規模法人が多いことや県民所得が比較的高いことから、全国的にみて県税収入の割合が高く、財政力指数は0.92と全国平均0.47のおよそ2倍、類似団体平均と比較しても1.4倍と、高い財政力を有している。

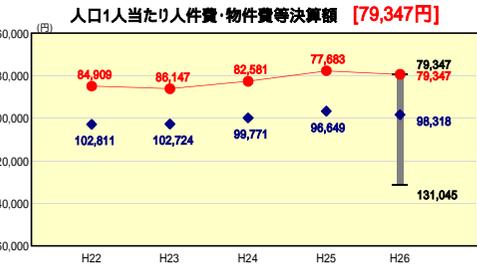
財政構造の弾力性



グループ内順位 8/17 都道府県平均 93.0

経常収支比率の分析
 人口規模に応じて配置する警察官や教職員の人件費負担が多く、公債費や社会保障関係費などが増加していることから、経常収支比率は依然として高い数字で推移している。
 なお、類似団体平均との比較で経常収支比率が低くなっているのは、従来からの県債発行抑制の取組みにより、類似団体と比べて公債費の比率が低くなっているためである。
 今後も引き続き、人件費の抑制、県債の発行抑制による公債費削減、施策・事業の見直し等により、経常経費の抑制に努めていく。

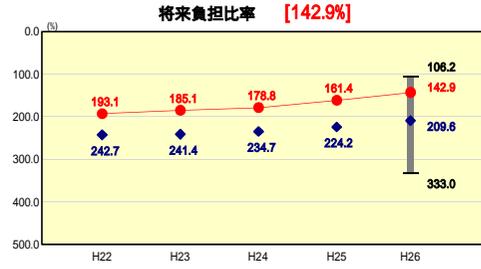
人件費・物件費等の状況



グループ内順位 1/17 都道府県平均 115,013

人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析
 人件費、物件費及び維持補修費の合計額の人口1人当たりの金額は79,347円と全国一低いコストとなっている。今後も引き続き、行財政改革に取り組んでいく。

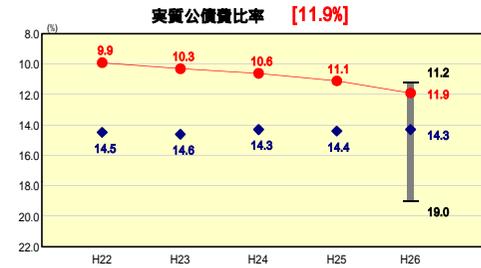
将来負担の状況



グループ内順位 2/17 都道府県平均 187.0

将来負担比率の分析
 入早期健全化基準(400%)を大きく下回っている。職員数の削減等による退職手当負担見込額の減少などにより、前年度より18.5ポイント減少した。今後も引き続き、県債の発行抑制に努めるなど、健全化に向けて取り組んでいく。

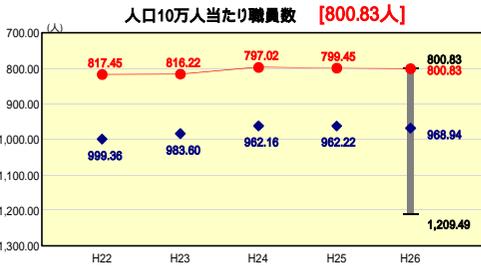
公債費負担の状況



グループ内順位 3/17 都道府県平均 13.1

実質公債費比率の分析
 従来から県債の発行抑制に取り組んでおり、実質公債比率は、11.9%と低い水準にある。今後増加が見込まれる公債費負担をできるだけ軽減するため、県債管理目標の達成に向け、引き続き、県債の発行抑制に努めていく。

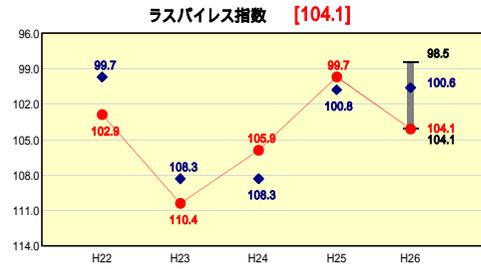
定員管理の状況



グループ内順位 1/17 都道府県平均 1,109.91

人口10万人当たり職員数の分析
 法令等の配置基準が定められている教育部門と警察部門は増加しているが、自主的な定員管理が可能な一般行政部門を抑制して、職員数全体の伸びを抑えている。一般行政部門は、簡素で効率的な県政の実現を目指し、全国に先駆けて平成9年度から行政システム改革に取り組み、人口10万人当たり職員数は全国最少となっている。
 今後は、削減中心ではなく、職員・組織・仕事の質を向上させ、行政組織の総合力を高める「質的向上」に着目した改革を行い、引き続き適切な定数管理に努めていく。

給与水準(国との比較)



グループ内順位 17/17 都道府県平均 99.7

ラスパイレス指数の分析
 緊急財政対策の一環として平成26年度末まで行っていた給与減額措置が終了したことに伴い、前年度より4.4ポイント上昇した。
 職員の給与水準は県内民間企業との均衡を基本としており、県内民間企業の給与水準は全国平均を上回る状況にあるため、本県のラスパイレス指数は高くなる傾向にあるが、今後も引き続き、給与制度全般にわたって適正な運用に努めていく。

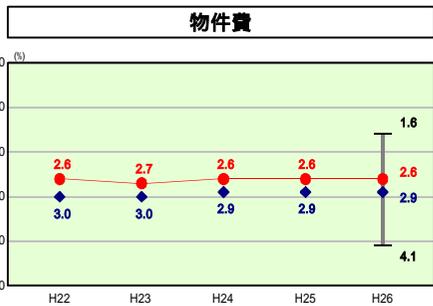
(4)-1 都道府県経常経費分析表(普通会計決算)

平成26年度

神奈川県

経常収支比率の分析

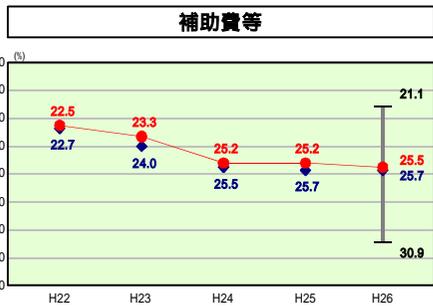
人口	9,116,666	人(H27.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	8,950,680	人(H27.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	2,415.81	km ²	実質公債費比率	11.9	%
歳入総額	1,976,774,770	千円	将来負担比率	142.9	%
歳出総額	1,950,050,199	千円	グループ	H22 B H23 B H24 B	
実質収支	7,547,768	千円	(年度毎)	H25 B H26 B	
標準財政規模	1,371,078,618	千円			
地方債現在高	3,753,772,282	千円			



物件費の分析

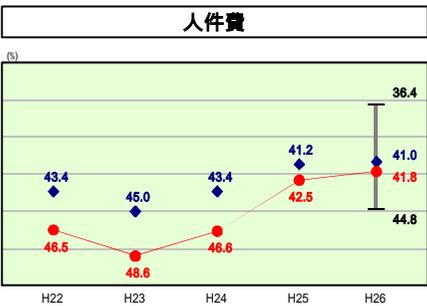
これまで徹底した施策・事業の見直しや内部管理経費の削減等の行財政改革に取り組んだ結果、類似団体平均を下回っている。今後も引き続き、施策・事業の見直しなどに取り組んでいく。

グループとは、道府県を財政力指数の高低によって5つに分類したものである。
 [Aグループ 1.000以上、Bグループ 0.500以上1.000未満、Cグループ 0.400以上0.500未満、Dグループ 0.300以上0.400未満、Eグループ 0.300未満]



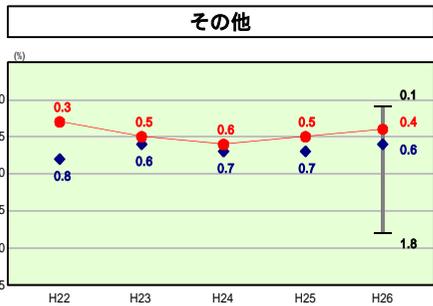
補助費等の分析

補助費等は、県から市町村や団体などに対する補助金や負担金などの支出であり、三位一体の改革や社会保障制度改革に伴う県負担の増により高い水準で推移している。今後も引き続き、県と市町村の役割や団体への補助の必要性などを考慮し、補助金の見直しを進めていく。



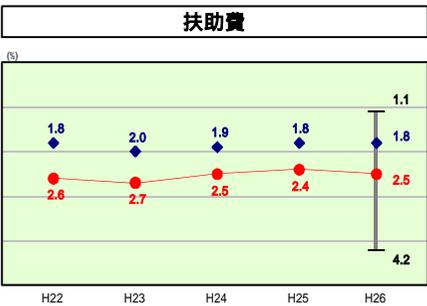
人件費の分析

全国の人口が減少している中、本県では、引き続き人口が増加しているため、人口規模に応じた多数の教職員や警察職員を配置する必要があることから、類似団体に比べて、人件費に係る経常収支比率が高くなっている。ただし、県民1人当たりの人件費及び人件費に準ずる費用は71,166円と、全国で最も低い金額となっている。今後も引き続き、人件費の抑制に取り組んでいく。



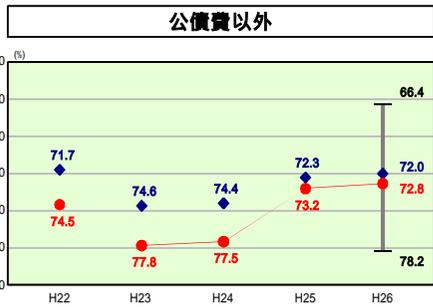
その他の分析

その他は維持補修費及び貸付金の合計であるが、県税事務所の再編(18 12事務所)等で、県有施設の維持補修費などが減少したことにより、前年度比0.1ポイントの減となっている。



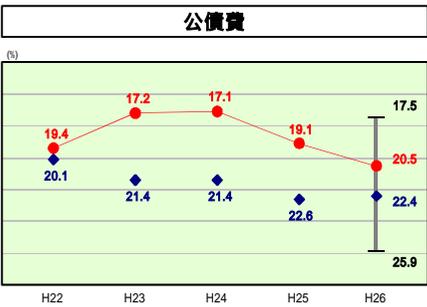
扶助費の分析

医療関係費などが増加傾向にあることなどから、類似団体平均を上回っている。県民生活に直接かかわる経費であるため、今後も引き続き、適切に対応していく。



公債費以外の分析

人件費や扶助費が類似団体平均を上回っている。今後も引き続き、人件費の抑制など、行財政改革に取り組んでいく。



公債費の分析

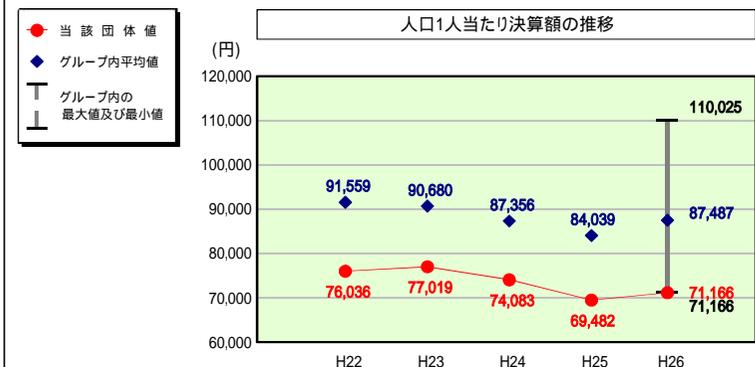
県債管理目標として「平成30年度までにプライマリーバランスを黒字化すること」と「平成35年度までに県債全体の残高を減少させること」を掲げて、従来から県債の発行抑制に取り組んでおり、類似団体平均を下回っている。今後増加が見込まれる公債費負担をできるだけ軽減するため、県債管理目標の達成に向け、引き続き、県債の発行抑制に努めていく。

(4)-2 都道府県経常経費分析表(普通会計決算)

平成26年度

神奈川県

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



人件費及び人件費に準ずる費用

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	グループ内平均(円)	対比(%)
人件費	707,669,471	77,624	94,590	17.9
賃金(物件費)	557,467	61	150	59.3
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	-	-	483	-
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	-	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	-	-	37	-
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	3,706,803	407	873	53.4
退職金	63,138,391	6,926	8,647	19.9
合計	648,795,350	71,166	87,487	18.7

参考

	当該団体	グループ内平均	対比(差引)
人口100,000人当たり職員数(人)	800.83	968.94	168.11
ラスパイレス指数	104.1	100.6	3.5

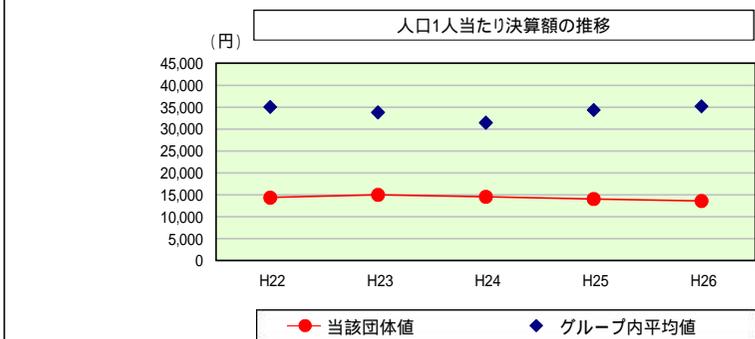
公債費及び公債費に準ずる費用の分析



公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	グループ内平均(円)	対比(%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	123,715,450	13,570	26,315	48.4
積立不足額を考慮して算定した額	38,930,738	4,270	3,581	19.2
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	155,042,550	17,006	17,871	4.8
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	4,396,378	482	1,100	56.2
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	838,000	92	85	8.2
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	3,383,927	371	807	54.0
一時借入金利息 (同一団体に於ける会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	2	-
特定財源の額	10,504,927	1,152	2,025	43.1
地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	158,640,385	17,401	25,214	31.0
合計	157,161,731	17,239	22,522	23.5

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

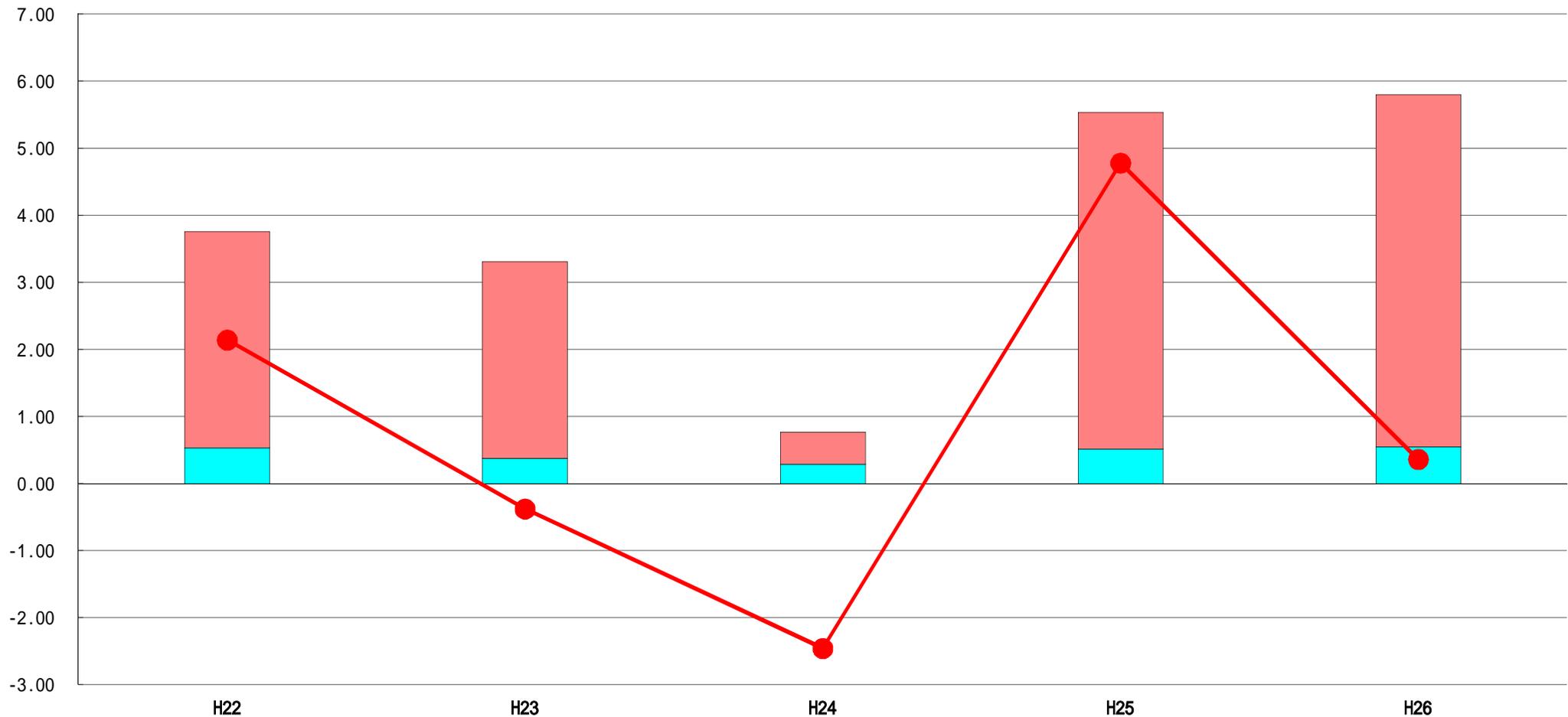
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
		当該団体(円)	増減率(%) (A)	グループ内平均(円)	増減率(%) (B)	(A)-(B)
H22	128,135,400	14,387	15.7	35,074	12.0	3.7
うち単独分	68,767,568	7,721	6.1	16,700	3.0	3.1
H23	134,089,602	15,037	4.5	33,849	3.5	8.0
うち単独分	63,741,831	7,148	7.4	12,489	25.2	17.8
H24	132,590,185	14,597	2.9	31,502	6.9	4.0
うち単独分	61,977,109	6,823	4.5	11,020	11.8	7.3
H25	128,237,595	14,091	3.5	34,374	9.1	12.6
うち単独分	67,545,099	7,422	8.8	10,917	0.9	9.7
H26	124,372,755	13,642	3.2	35,216	2.4	5.6
うち単独分	68,392,672	7,502	1.1	12,644	15.8	14.7
過去5年間平均	129,485,107	14,351	4.2	34,003	2.2	2.0
うち単独分	66,084,856	7,323	1.6	12,754	5.0	3.4

(5) 実質収支比率等に係る経年分析（都道府県）

平成26年度

神奈川県

標準財政規模比（%）



標準財政規模比（%）

区分	年度	H22	H23	H24	H25	H26
 財政調整基金残高		3.23	2.93	0.48	5.02	5.25
 実質収支額		0.53	0.38	0.29	0.52	0.55
 実質単年度収支		2.14	0.38	2.46	4.78	0.36

分析欄

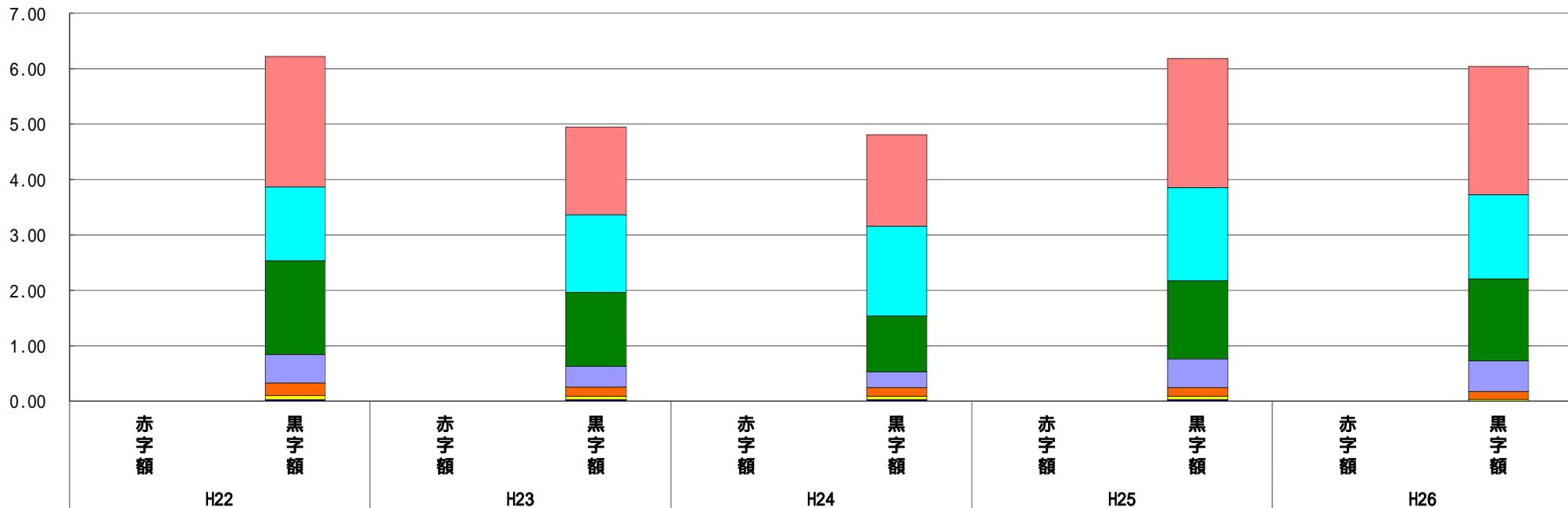
平成26年度の普通会計は、平成26年4月の地方消費税の税率上げや好調な企業収益を反映して、県税収入が3年連続の増収となったことなどにより、実質収支、単年度収支ともに2年連続で黒字となった。財政調整基金は決算剰余金の1/2などの積立を行った。なお、平成24年度の実質単年度収支が大きく減少しているのは、臨時特例企業税敗訴判決に伴う返還金財源確保のため財政調整基金を取り崩したことなどによる。今後も引き続き、慎重な財政運営に努めていく。

(6) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析 (都道府県)

平成26年度

神奈川県

標準財政規模比 (%)



標準財政規模比 (%)

会計	年度	H22	H23	H24	H25	H26
公営企業資金等運用事業会計		2.36	1.58	1.66	2.33	2.31
水道事業会計		1.33	1.40	1.62	1.68	1.52
電気事業会計		1.69	1.34	1.01	1.41	1.48
一般会計		0.52	0.37	0.28	0.52	0.55
流域下水道事業会計		0.23	0.17	0.16	0.16	0.14
病院事業会計		0.07	0.06	0.06	0.06	0.04
公債管理特別会計		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
公営競技収益配分金等管理会計		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他会計 (赤字)		-	-	-	-	-
その他会計 (黒字)		0.03	0.03	0.03	0.03	0.00

分析欄

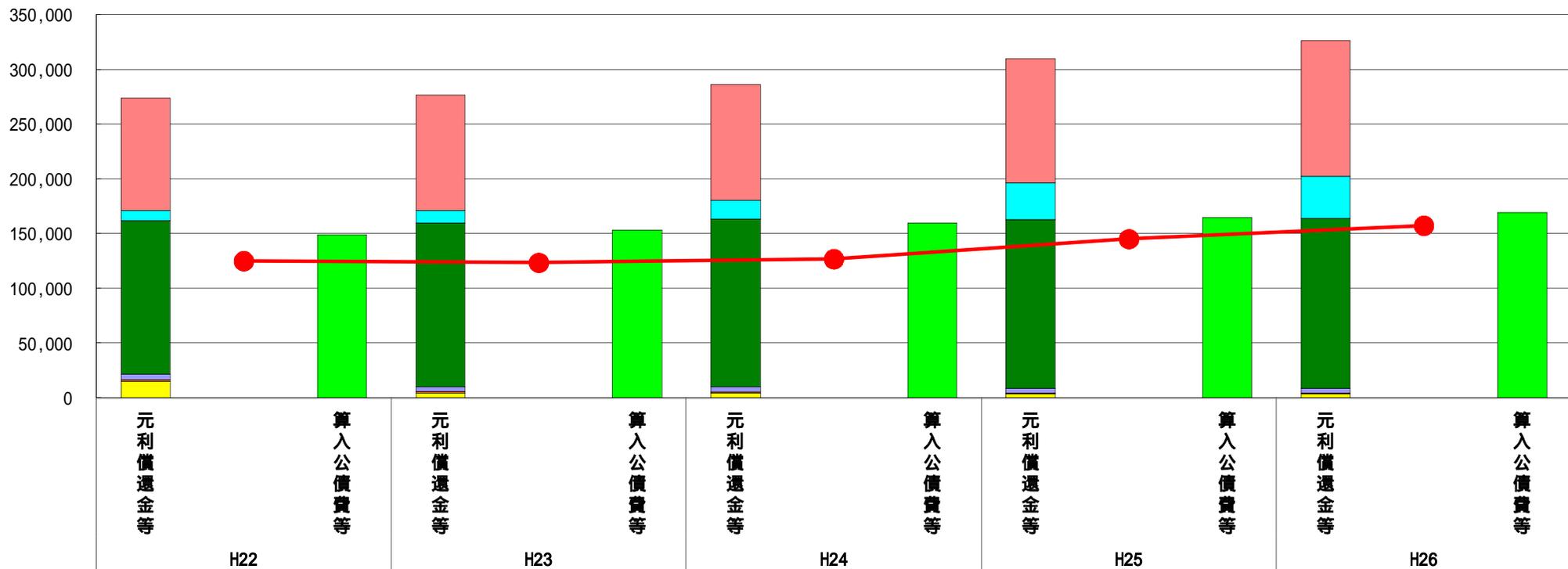
一般会計の実質収支は黒字である。また、公営企業会計においても、全ての会計で資金不足が生じていないため、連結赤字比率は該当がない。
今後も引き続き、慎重な財政運営に努めていく。

(7) 実質公債費比率(分子)の構造(都道府県)

平成26年度

神奈川県

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H22	H23	H24	H25	H26
元利償還金等(A)	元利償還金		102,395	105,450	106,053	113,481	123,715
	減債基金積立不足算定額		9,473	11,476	16,645	33,370	38,931
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額		140,199	149,612	153,587	154,267	155,043
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金		5,424	4,360	4,591	3,993	4,396
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等		1,098	1,076	1,000	926	838
	債務負担行為に基づく支出額		15,086	4,629	4,314	3,683	3,384
	一時借入金の利子		-	-	-	-	-
算入公債費等(B)	算入公債費等		148,947	153,369	159,627	164,822	169,145
(A) - (B)	実質公債費比率の分子		124,728	123,234	126,563	144,898	157,162

分析欄

従来から県債の発行抑制に取り組んでいることから、地方交付税の代替措置である臨時財政対策債を除く通常の県債現在高は、減少している。しかしながら、全体の県債現在高は臨時財政対策債の大量発行により年々増加しているため、元利償還金等が増加している。

なお、平成22年度に債務負担行為に基づく支出額が大きいの、損失補償をしていた第三セクター2団体の解散によるものである。

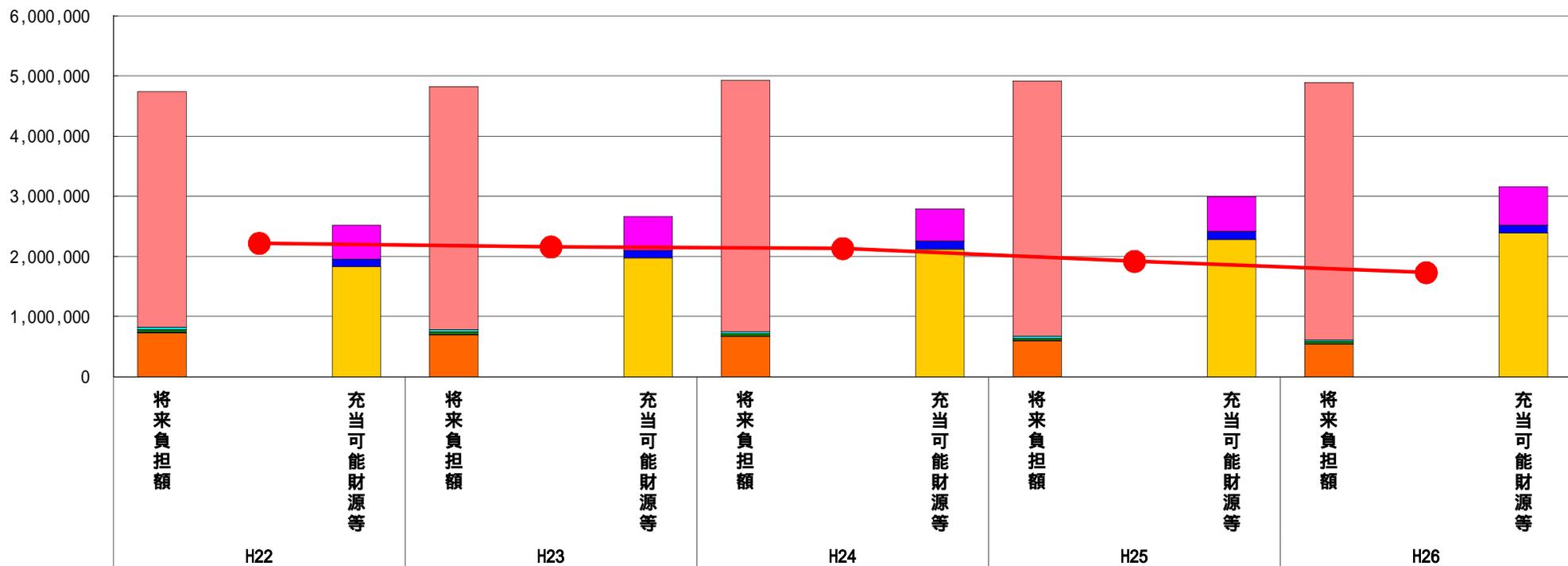
今後増加が見込まれる公債費負担をできるだけ軽減するため、県債管理目標の達成に向け、引き続き、県債の発行抑制に努めていく。

(8) 将来負担比率（分子）の構造（都道府県）

平成26年度

神奈川県

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度				
		H22	H23	H24	H25	H26
将来負担額(A)	一般会計等に係る地方債の現在高	3,916,327	4,040,415	4,178,464	4,248,705	4,280,180
	債務負担行為に基づく支出予定額	38,082	34,244	30,827	27,860	25,119
	公営企業債等繰入見込額	45,881	44,697	42,318	40,237	37,507
	組合等負担等見込額	5,216	4,324	3,480	2,681	1,941
	退職手当負担見込額	720,072	689,763	659,064	587,961	537,849
	設立法人等の負債額等負担見込額	13,107	12,515	11,983	12,270	12,070
	連結実質赤字額	-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額	3,381	3,404	3,164	2,588	-
充当可能財源等(B)	充当可能基金	556,319	560,798	536,838	582,809	640,582
	充当可能特定歳入	131,585	131,694	130,998	133,588	128,078
	基準財政需要額算入見込額	1,831,852	1,975,808	2,126,140	2,284,369	2,392,739
(A) - (B)	将来負担比率の分子	2,222,311	2,161,062	2,135,323	1,921,536	1,733,266

分析欄

将来負担額の大部分を占める一般会計等に係る地方債現在高は、本県のこれまでの発行抑制の取組みにより通常の県債現在高は減少しているものの、全体の県債現在高は、臨時財政対策債の大量発行により年々増加している。一方、職員数の削減等により退職手当負担見込額が減少するなど、将来負担額の他の項目については、概ね減少傾向にある。また、基準財政需要額算入見込額の増により充当可能財源等が増加していることから、将来負担比率の分子の額は、減少傾向となっている。

今後も引き続き、健全化に向けて取り組んでいく。